



ごあいさつ

山口県高等学校体育連盟

会長 齊藤 英一郎

第73回山口県高等学校総合体育大会が、5月28日から30日までの3日間を中心に、萩光塩学院高等学校3年 黒石 誠さんの作品「今ここに 僕らの青春 解き放て」のスローガンの下、盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

この大会は、31競技に県下77校、8,316人の高校生が覇権をかけて競う、山口県最大の高校スポーツの祭典です。大会の勝者の多くが高校生アスリートの夢舞台でもあるインターハイへの出場権を得るものであり、この大会を目標に各選手・チームは、これまで練習を重ね、競技力を高めてきたと思います。選手の皆さんが、これまでの練習の成果を十分に発揮されることを願うとともに、一人ひとりが高校生らしいはつらつとしたプレーを展開し、精一杯の青春を感じてもらいたいと思います。

さて、昨年は「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」が福井県を中心に北信越5県と和歌山県において、史上初めての大会中止から2年ぶりに開催されました。山口県からも29競技、488名の選手が参加し、大いに活躍しました。男子弓道団体、女子バドミントンの団体及びダブルス、男子ハンドボールの4種目で優勝、また個人競技でも陸上競技で優勝するなど、12競技31種目で入賞を果たしました。これは2年前に開催された大会を上回る結果で、コロナ禍においても選手の皆さんをはじめ各専門部の指導者や関係者の方々のたゆまぬ努力の賜物であり、改めて関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

今年もインターハイ出場をかけて、これから県内各地で熱戦が繰り広げられます。7月23日から徳島県を中心に香川県、愛媛県、高知県及び和歌山県で開催される「躍動の青い力 四国総体2022」において、山口県の高校生が躍動し、元気と感動を県民に届けてくれることを心から願っております。

結びになりますが、本年度も今大会を共催していただいております山口新聞社様、そして今大会をはじめ日々の練習の指導に御尽力いただいております各学校の先生方、高校生を温かく支えていただいております保護者の皆様方、さらには、山口県並びに山口県教育委員会をはじめ高校生の運動部活動に格別の御理解と御支援をいただいております各競技団体の関係者の皆様に対し、深く感謝とお礼を申し上げ、あいさつといたします。